



学校だより

令和7年10月30日

ビック・スポーツ・フェスティバル 大成功！

朝まで降り続いた雨で、10月10日に順延となった窪田っ子ビック・スポーツ・フェスティバルでしたが、結果的に、素晴らしい晴天のもと、全ての競技を行うことができ、大いに盛り上がり大成功でした。保護者の皆様もたくさん応援に駆けつけてくださり、ありがとうございました。6年生のリーダーシップや子どもたちの活躍は、感動的でした。実質はじめてとなる学校独自のスポーツフェスティバルを子ども達中心に教職員も含めて学校全体で作りあげたことに、手ごたえと満足感を覚えるとともに、改めて子どもたちの無限の力を感じることができました。子どもたちの素敵な姿を保護者の皆様にもご覧いただくことができ、うれしくも思います。今後、更に保護者や地区の皆さんには、気軽に学校においでいただき、連携して子どもたちを育ててまいりたいと思っています。

気が付けば今年度も折り返しです。後期もご理解とご協力をよろしくお願い致します。

個人面談・連絡票配付ありがとうございました

お忙しい中、個人面談にご来校いただき、ありがとうございました。お子さんの学校生活や家庭生活の様子について、直接伝え合うことができ、子どもたちの理解を深めたり、学校教育活動やご家庭での教育について確認し合ったりする貴重な機会となりました。保護者の皆さんから、学校教育活動について、ご理解とご協力をいただいていることを再確認し、教職員一同、子どもたちの成長のために、これからもしっかりとがんばっていきたいと改めて気を引き締めたところです。今後とも、どうぞよろしくお願い致します。

後期開始！新しい先生方を迎え新体制で！

2年1組担任の 東海林 妃佳里 先生が産前産後休暇に入り、この度本校に着任した 猪口 研一 先生が、2年1組担任となりました。また、9月より、以前本校にも勤務されていた 長谷川 均 先生も勤務しております。なお、本校では、これまで、学年に応じて担任だけではなく様々な教員が各教科の指導を行っていますが、後期より、更に教科指導等の体制を見直し、担当教科の一部変更等を随時行っています。よりよい教育活動を行う上での対応ですので、どうぞご理解をいただきますようよろしくお願い致します。具体的な変更点については各学年でお知らせします。

窪田小学校創立 97 周年を祝って

本日、本校の創立 97 周年記念式典を行いました。子どもたちは、とても立派な態度で式に臨み感心しました。式の中で、子どもたちにも話をしましたが、創立前のことも含めて、窪田小学校の歩みをまとめたものを紹介しますので、一読いただければ幸いです。

窪田小学校は、昭和 3 年の窪田尋常高等小学校創立から数えて、今年で 97 周年になりますが、窪田・藤泉・中田の 3 つの学校を統一して創立されたとあります。沿革史を紐解くと統一する前のそれぞれの学校の推移については以下のようなようになります。

| <藤泉学校> | <窪田学校> | <中田学校> |
|--|--|--|
| 明治 5 年〔153 年前〕 沖学校設立 (藤泉村金剛院内) 明治 10 年〔148 年前〕 沖学校下矢野目分校開設 明治 20 年〔138 年前〕 藤泉尋常高等小学校と改称 | 明治 6 年〔152 年前〕 窪田学校設立 (家中の本覚院内) 明治 20 年〔138 年前〕 窪田尋常小学校と改称 | 明治 9 年〔149 年前〕 中田学校設立 (塩徳学校より分離) 明治 17 年〔141 年前〕 中田学校が有秀学校と改称 明治 20 年〔138 年前〕 中田尋常小学校と改称 |
| ※ 明治 20 年〔138 年前〕下矢野目尋常小学校となる(沖学校より分離) | | |
| | 明治 25 年〔133 年前〕窪田尋常高等小学校 (中田・下矢野目の両尋常小学校を合併する) | |
| | | 明治 34 年〔124 年前〕 中田尋常小学校 (窪田尋常高等小学校より分離) |
| 昭和 3 年〔97 年前〕窪田尋常高等小学校創立(窪田・藤泉・中田の 3 学校を統一) // 16 年〔84 年前〕窪田村窪田国民学校と改称 // 22 年〔78 年前〕窪田村立窪田小学校と改称 // 29 年〔71 年前〕米沢市立窪田小学校と改称 | | |

窪田小学校発祥とも考えられる沖学校(藤泉学校)の学区は、現在の窪田小学校学区の(藤泉・小瀬・東江股・上矢野目・下矢野目・中田)も含む計 18 箇村だったようで、米沢藩内(現在の米沢・南陽・高畠・川西)で、最も古い歴史を持つ学校とされています。ちなみに、校長黒田は、金剛院の副住職でもあるので、不思議な縁を感じています。

沖学校設立 2 年後に移転した場所には、現在、沖学校記念碑があり、明明徳碑文が、表題に掲げられています。「明明徳(めいめいとく)」という言葉は、中国の古典『大学』の冒頭にある「大学の道は、明明徳に在り」という一節に由来するもので、「天から与えられた明らかな徳(人間が本来持っている、清らかで曇りのない心)を、自ら明らかにする」という意味です。また、記念碑の初めには「人皆天賦の徳性あり 然れども学ばずして能く道を知るものなし」とあります。つまり、「人はもともと善い心を持っているが、それを磨き、実践するためには学問が必要である」という教えになります。まさに、学校教育の神髄であり、現代でも大切にしなければならないことではないでしょうか。

